

答 申

令和6年1月18日

小松島市長 中山 俊雄 様

小松島市ごみ処理施設整備手法等検討委員会
委員長 上月 康則

本年4月に設置された小松島市ごみ処理施設整備手法等検討委員会において、4回にわたり委員会を開催し、専門的立場での技術的な議論を重ね、小松島市に最も適した廃棄物処理方式、建設候補地、その他必要事項に関する検討を行い、「小松島市ごみ処理施設整備基本構想(案)」を取りまとめましたので、答申します。

なお、ごみ処理施設整備にあたっては、本検討委員会における意見などの趣旨を十分尊重し、下記の事項に留意し、本事業の推進にあたられるようお願いします。

記

1 ごみ処理施設の処理方式について

基本構想(案)に掲げる施設整備基本方針である安全・安心、環境保全、脱炭素、地域との共生、経済性に加え、市の政策への適合性の観点から処理方式を比較検討した結果、「好気性発酵乾燥方式」を小松島市にとって最も適した処理方式として選定します。この方式は排ガス・排水が発生せず二酸化炭素の削減が可能であり、経済的にも優れています。

2 施設整備候補地の選定について

立地条件、自然環境、社会・生活環境、防災、経済性、用地取得の見込みを総合的に評価した結果、市北部の候補地③「芝生町・田野町周辺地域」を最終候補地として選定します。

3 その他留意事項について

- 市民の理解を深めながら、地域還元を行い、地域のシンボルとなる施設整備を進めること。
- 今後も、ごみ減量等施策を積極的に推進すること。
- 好気性発酵乾燥方式は最先端の技術であるため、今後も継続的な調査・研究を重ねながら事業を進めること。